



文

堀 文子《春の花籠》1985年



主催：倉吉市 協力：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
倉吉市制70周年記念特別展

あいおいニッセイ同和損保コレクション

匠たちのTSUBAKI・椿・つばき

2024年3月2日(土)～5月6日(月・振)

休館日：3/4、11、18、21、25、4/1、8、15、22

- 開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 入館料：一般800円(600円)、70歳以上の方500円
大学・高校生400円(300円)
※()は前売り・20人以上の団体料金
- 次の方は無料：中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介助者

倉吉博物館

〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8
<https://www1.city.kurayoshi.lg.jp/hakubutsu/>
電話0858-22-4409 k-museum@city.kurayoshi.lg.jp



交通のご案内

JR倉吉駅からバスで20分(2番乗り場)
赤瓦・白壁土蔵バス停から徒歩8分 打吹公園内



主催:倉吉市 協力:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
倉吉市制70周年記念特別展

あいおいニッセイ同和損保コレクション

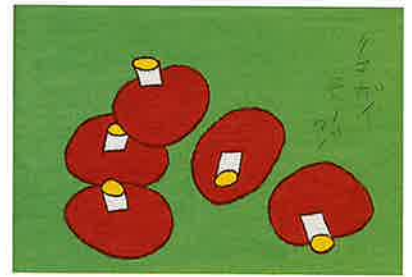
匠たちのTSUBAKI・椿・つばき

2024年3月2日(土)～5月6日(月・振)

休館日:3/4、11、18、21、25、4/1、8、15、22

倉吉市制70周年を記念して、本市の木である「椿」をモチーフとした絵画工芸品を展示します。艶やかな緑の葉と鮮やかな花弁が印象的な椿は、琳派の画家や文人画家をはじめ現代に至るまで多くの作家によって表現されてきました。

本展は優れた椿絵の収集で知られる「あいおいニッセイ同和損保コレクション」の中から、江戸時代の琳派を代表する尾形光琳、乾山や岸田劉生、熊谷守一、小倉遊亀、堀文子など現代の巨匠に至るまでの作品約70点を紹介します。ヤブツバキの名所として知られる打吹公園・椿の平の花とあわせてご覧ください。



熊谷守一《春の日》1966年



竹久夢二《舞妓》1915-20年



尾形光琳《椿図蒔絵硯箱》18世紀



尾形乾山《色絵椿文輪花向付》18世紀



岸田劉生《籠椿》1924年



木村荘八《椿図》1930-40年代

同時開催 **郷土ゆかりの作家による「花咲くつばき」展**

出品作家(50音順)

朝倉勢津子、大坂弘道、久保田沙耶、松嶋政男、安田育代ほか

倉吉博物館は倉吉市のシンボルである打吹山のふもと、打吹公園・椿の平(つばきのなる)の東側にあり、周囲はヤブツバキ、桜、シイなどの大樹に囲まれた森の中の博物館です。

令和5年度鳥取県「県立美術館」
 実現に向けた地域ネットワーク形成事業

大人も楽しい**積み木でアート**

3/24(日)～31(日)博物館ホール

※ホールのみ無料



©高木美晴
 @miharu.sss.t

積み木アート作家・高木美晴氏の作品を展示。
 積み木遊びコーナーもあります。

主催:特定非営利活動法人こども未来ネットワーク
 協力:倉吉おや子劇場 共催:倉吉博物館

倉吉博物館

〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8 電話0858-22-4409
<https://www1.city.kurayoshi.lg.jp/hakubutsu/> k-museum@city.kurayoshi.lg.jp